

# 人類の文化は想像以上に奥深い。

国際交流学部 教授

## 谷口 裕久

TANIGUCHI YASUHISA

### 略 歴

神戸大学大学院文化学研究科博士課程満期退学  
京都文教大学などを経て現職(龍谷大学非常勤講師兼務)。

### 専門分野

文化人類学(中国西南部～東南アジア大陸部民族論、医療文化論)、  
中国・東南アジア地域研究、比較言語学(民族文字・音韻論)

### 研究活動

本学においては現在、西南中国や東南アジア大陸部諸国家の近接国境領域における  
同一少数民族の越境移住者・難民とその文化・社会動態に関する研究をしています。

### 担当授業

比較文化論、社会学、ダイバーシティと人権

衣食住を含む異文化や異文化的他者、他の国や地域の社会、一般的な慣習にいたるまで、まずは平易な内容を題材にして、スタジオ(ゼミ)の学生と一緒に考えます。  
スタジオ(ゼミ)において、スマホはすでに「ゲームをしたり、単にYouTubeを見たりするツール」ではありません。スタジオ(ゼミ)ですそうした機器類も効率的に使いながら、常に考え、自らの考えを主張し、意見の違いを認識してもらいます。  
また、一緒に同じ文献を読むこともあります。家族や友人同士であれ、人は意外に自己以外の他者を知ってはいないものです。現在のところ、地球環境問題の追究やスラム研究、イスラーム研究、日本語の方言調査、英語によるジェンダー分析などを行う学生が、

私のスタジオ(ゼミ)に現れています。このように多様な人の営為を、文化や社会、また言語的な側面から深く追究してゆくのが、谷口スタジオ(ゼミ)の骨頂です。  
分析の際には、英語など母語以外の言語を用いて考えるのも、このスタジオ(ゼミ)では許容の範囲内です。

### 学外での取り組みなど

日本旅行大阪支社講演会講師、久御山高等学校特別講演会講師、三田市市史編集委員会現代史部会委員、チェンマイ大学客員研究員、人間文化研究機構(国立歴史民俗博物館・国立民族学博物館)共展「アジアの境界を越えて」プロジェクト委員、国立民族学博物館共同研究員など

### SDGsへの取り組みについて

- ・目標1【貧困をなくそう】  
スタジオ(ゼミ)の実習の一環として、学生とタイ・バンコクのスラム地区を見学に行くなど、現状を知り、一緒に考える機会を設けています。
- ・目標5【ジェンダー平等を実現しよう】  
ジェンダー・ポリティクスに関して「ダイバーシティと人権」や「社会学」の授業で解説しています。
- ・目標10【人や国の不平等をなくそう】  
「ダイバーシティと人権」や「社会学」・スタジオ(ゼミ)の授業で人道支援の現状や問題を取り上げ、移民や難民に関する諸課題についても検討しています。
- ・目標15【陸の豊かさも守ろう】  
スタジオ(ゼミ)の授業や「社会学」的な見地から、広く地球環境問題を検討し、自ら私たち人類の将来を見据えます。
- ・目標16【平和と公正をすべての人に】  
主に「ダイバーシティと人権」や「比較文化論」、スタジオ(ゼミ)の授業で平和志向の態勢や、「開発論」などについて学ぶ機会があります。